

# 木徳神糧株式会社

2008年12月期中間決算説明資料

2008年9月5日(金)

# 注意事項

---

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。

# 内容

---

■ 2008年12月期中間業績の報告並びに  
通期業績の見通し

■ 下半期の経営課題について

# 2008年12月期中間業績の報告 並びに通期業績の見通し

# 目次

---

1. 中間連結損益計算書
2. 中間連結セグメント別損益
3. 中間連結貸借対照表
4. 中間連結キャッシュフロー
5. 中間個別(単体)の概況
6. 株主還元方針
7. 連結・単体通期業績の見通し

# 1. 中間連結損益計算書

単位:百万円

項目	08年度中間実績	07年度中間実績	増減
売上高	49,262	49,759	△497 (△1.0%)
営業利益	840	419	421 (100.5%)
経常利益	784	385	399 (103.6%)
当期純利益	734	452	282 (62.4%)

## 前年同期比の主要増減要因

売上高: 米穀事業のミニマム・アクセスによる輸入米の取扱いは大幅に減少したが、国内販売は順調に推移

営業利益: 米穀事業の国内販売拡大による増加

経常利益: 為替評価損 △36

## 2. 中間連結セグメント別損益

単位: 百万円

項目	08年度中間実績		07年度中間実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結合計	49,262	840	49,759	419	△497	421
米穀事業	40,362	1,142	41,702	641	△1,340	501
食品事業	4,981	3	3,500	68	1,481	△65
鶏卵事業	3,184	69	3,306	71	△122	△2
飼料事業	2,051	113	1,402	93	649	20
消去又は全社	△1,316	△487	△151	△454	△1,165	△33

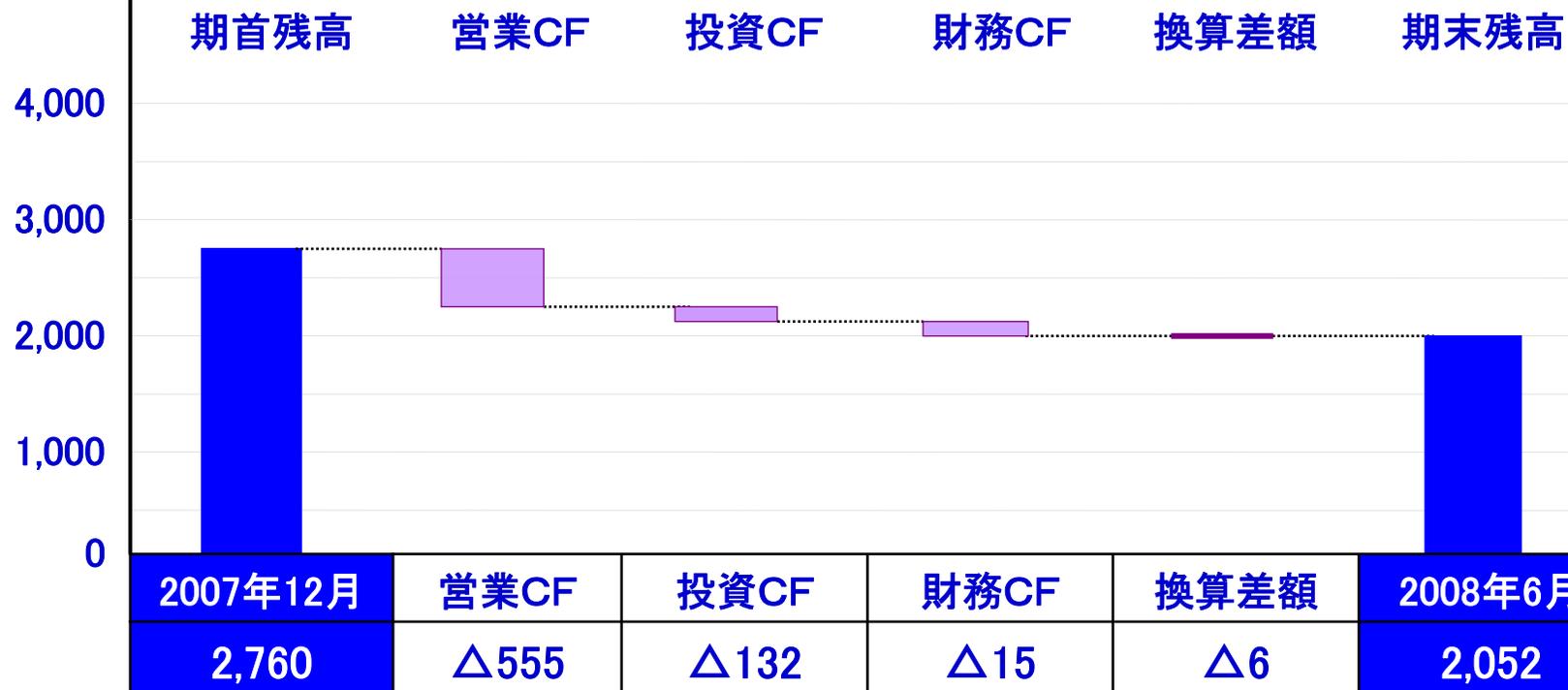
### 3. 中間連結貸借対照表

単位:百万円

項目	08年度中間実績	07年度中間実績	増減	増減要因
流動資産	14,720	14,850	△130	売掛金 △547 たな卸資産 450
固定資産	9,298	10,034	△736	減価償却費 △348
資産合計	24,018	24,884	△866	
流動負債	15,613	15,140	473	短期借入金等 2,115 買掛金 △1,481
固定負債	3,691	5,817	△2,126	長期借入金 △1,067 社債 △850
負債合計	19,304	20,957	△1,653	
純資産合計	4,714	3,927	787	
負債純資産合計	24,018	24,884	△866	

# 4. 中間連結キャッシュフロー

単位:百万円



営業CF: 仕入債務 Δ2,029(\*) 売上債権 596(\*) 税前中間純利益 819

投資CF: 設備投資額 Δ119

財務CF: 長期借入金等 Δ774 短期借入金 800

(\*)休日要因あり(前期末が休日)。

## 5. 中間個別(単体)の概況

単位:百万円

損益計算書抜粋	08年度中間実績	07年度中間実績	増減
売上高	40,080	38,628	1,452
営業利益	735	341	394
経常利益	656	294	362
当期純利益	661	272	389

貸借対照表抜粋	08年度中間実績	07年度中間実績	増減
流動資産	10,502	9,824	678
固定資産	7,553	8,078	△525
資産合計	18,055	17,902	153
流動負債	11,597	10,858	739
固定負債	2,640	4,341	△1,701
負債合計	14,237	15,199	△962
純資産合計	3,818	2,703	1,115
負債純資産合計	18,055	17,902	153

## 6. 株主還元方針

### <配当について>

公表しました配当方針に従い、今中間期配当を1株につき3円(当初予想より1円増配)とさせていただきます。  
年間配当は期末予想の2円を加えて5円になる見込みです。  
(参考:前年中間期配当は1株につき2円でした。)

### <株主優待制度変更について>

この度、当社は株主優待内容の拡充のため、株主制度の変更を行いました。

現行		変更後	
株数	内容	株数	内容
1,000株以上	6月末は一律2,000円相当の米穀製品 12月末は一律3,000円相当の米穀製品	1,000株以上 2,000株未満	6月末は2,000円相当の米穀製品 12月末は3,000円相当の米穀製品
		<b>2,000株以上</b>	<b>6月末は4,000円相当の米穀製品等 (うち2,000円相当「切り餅」を12月中頃までに 贈呈する。)</b> 12月末は3,000円相当の米穀製品

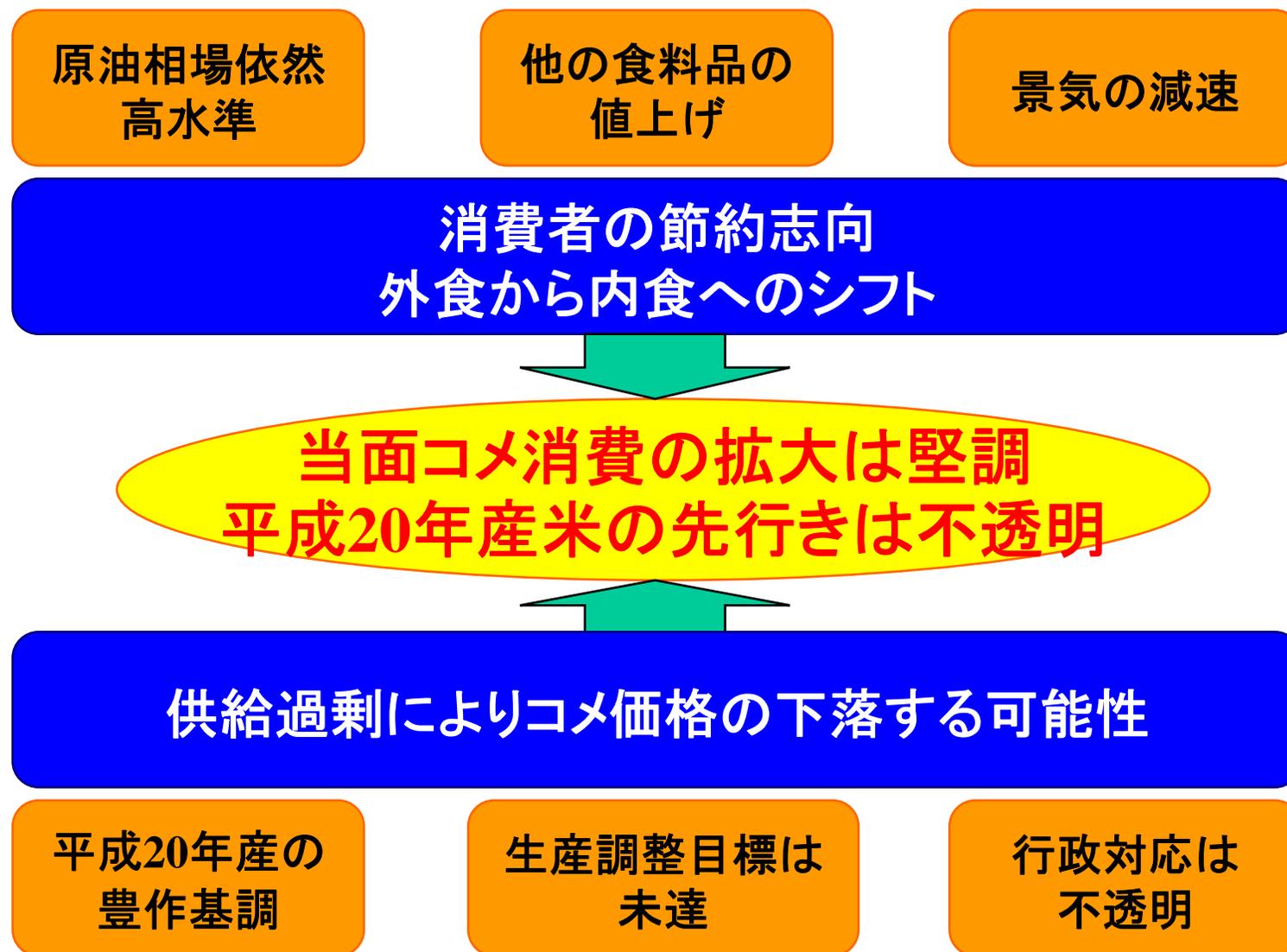
## 7. 連結・単体通期業績の見通し

単位:百万円

項目		08年度見通し	07年度実績	増減
売上高	連結	97,900	98,515	△615
	単体	79,730	77,483	2,247
営業利益	連結	1,400	831	569
	単体	1,130	650	480
経常利益	連結	1,200	717	483
	単体	930	495	435
当期純利益	連結	1,090	715	375
	単体	920	893	27

# 下半期の経営課題について

# 1. 下半期の経営環境



## 2-1. 営業力の強化

---

- ◆グループ企業のパワー発揮  
グループ各社の特異性を生かしてシナジー効果をより強化させる。既存取引先への販売の拡大、そして、新商品取扱いの促進へと繋げていく。
- ◆新規開拓の強化  
専任組織による積極的な営業開拓活動を展開し、確実に新規取引先を獲得する。
- ◆人材の育成  
事業の枠を超える商品知識の習得や研修活動を通して事業のグローバル化に適応する人材を育成する。

## 2-2. 経営資源の有効活用

---

### ◆他社に先駆ける生産体制

グループ精米工場の生産管理と品質管理に係わる基準と手法の水平展開を推進し、情報の共有化、連携体制の強化を通して、広域卸として工場の有効活用、競争における優位性の発揮を図る。

### ◆成長分野への投資

グループ内の経営資源を洗い直し、成長分野への投資を促進する。

### ◆販管費のコストダウン

販売拡大に伴う販売コストの増加を低減し、引き続き事務の効率化に注力する。

## 2-3. コメ関連商品の開発

---

- ◆ コメ粉を使用する実需者との共同開発とメニュー提案  
原料としてのコメ粉の販売拡大を促進する。  
(実例: 製パン、ケーキ、餃子の皮、唐揚げ粉、コメ麺)
- ◆ 機能性コメ加工食品の販売拡大  
保存食の低たんぱく米新商品「梅がゆ」の発売(8月)  
マンナン入り低カロリー無洗米の発売予定(10月)
- ◆ コメ糠の新たな価値創造  
自社精米工場から発生する新鮮なコメ糠から  
ヘルシーでトレース可能な美味しいコメ油  
「こめしぼり」を発売する。

# お問い合わせ先

---

**IR事務連絡責任者：**

**取締役執行役員  
管理部門副部門長 伊豫田 直記(いよだ なおき)**

**TEL : 03-5636-1501 FAX : 03-5636-1601**

**Email : [n-iyoda@kitoku-shinryo.co.jp](mailto:n-iyoda@kitoku-shinryo.co.jp)**